



医工学研究科

【部局のミッション（基本理念・使命）】

○医工学研究科は、医工学を標榜する我が国初の研究科として日本の医工学分野の進展をリードし、世界最高水準の研究を創造するとともに、「工学の知識や技術を駆使して生命の不思議に迫り、医学・医療の革新を通して人類の社会福祉に貢献する」という研究科の基本理念の下、科学と生活の架け橋となる工学を基礎に、医学・医療の革新的発達につながる教育・研究によって安全・安心な社会の実現を目指します。

【機能強化に向けた取組方針（～2017年度）】

○私たちは、医工学の端緒を開き研究を持続させてきた東北大学の伝統を基礎とし、医工学に関わる教育の更なる継承・展開を図るとともに、革新的医療機器開発など、医工学分野における先端的かつ多面的研究を追求することを目指します。

○私たちは、「ワールドクラスへの飛躍」に不可欠な世界最高水準の教育環境の整備と研究成果の実用化推進支援体制の確立に取り組むとともに、我が国の医工連携を推進発展させる戦略拠点である唯一の研究科として、学内・学外の医工連携プロジェクトを有機的に結び付け、メディカルサイエンスの発展を強力に推進します。

【重点戦略・展開施策】

1. 医用機器開発と実用化推進支援

医工学研究科の有するシーズを基に我が国初の医用機器を新たに開発し、実用化に至る道筋をつけるとともに、メディカルサイエンス実用化推進委員会を軸に全学的開発支援体制の強化を図ります。

また、研究成果を社会に還元する長期的視点と実務能力を涵養するため、医工学研究科が進めている「厚生労働省2012年度医薬品・医療機器・再生医療製品実用化促進事業」を発展させた学生教育を実施します。これは、「現代的課題に挑戦する先端的で創造的な」教育、「研究科を超えた」教育に対応します。さらにレギュラトリー・サイエンスに特化したコースを新設し、医療機器開発や薬事行政に関わる人材育成に努めます。

加えて、国内唯一の医工学研究科の強味を活かした産学連携研究を推進します。知と医療機器創生宮城県エリアの研究者集積事業で構築した招聘研究者グループと連携し、医学医療のイノベーションにつながる実用化研究の推進を行います。

2. レギュラトリー・サイエンス教育体制の構築

多様な革新的医療機器の迅速な実用化に不可欠な科学的な根拠に基づく効能、効果、安全性・品質等の評価を担う人材育成のための大学院生、研究者、医療技術者、社会人技術者等を対象とした我が国初のレギュラトリー・サイエンス医工教育プログラムの構築と実施を行います。

また、医療機器の開発を担う人材の育成のため、医学と工学の融合領域の教育の促進・普及、研究開発の底辺拡大、医工学実用化戦略拠点としてのコーディネート人材育成に努めます。さらに、学内外のプロジェクトと連携し、医療工学技術者創成のための教育システムを構築します。